

↓耳川に向けて一斉放水を行う美浜消防団員



火災のない町を目指して
美浜消防団出初式

1月7日に、美浜消防団出初式が耳川左岸等で行われました。

式では、18台の消防車から耳川へ向かい一斉放水を行った後、消防団及び防犯隊149人が消防車を従え、はあとびあ前を分列行進しました。

行進後は、消防署横で観閲式が行われ、敦賀美方消防組合副管理者の山口町長から観閲を受けました。



↑山口町長による観閲

↓山口町長とまちづくりについて語るみはま女性ネットワーク会員



皆さんの声をまちづくりに活かすために
ハートフル対話団体編

12月22日に、ハートフル対話団体編がなびあすで行われました。

この対話は、まちづくりやボランティアの団体等と町長が、今後のまちづくりについて語り合うものです。

当日は、みはま女性ネットワークの加盟団体から18人が参加し、美浜駅前の活性化や各団体の抱える問題について活発な意見交換が行われました。

↓手回し発電機で明かりをつける参加者



一人ひとりがエネルギーを大切に使うために
わくわくエネルギー学校

12月16日に、わくわくエネルギー学校「身近な電気見える化編」がさいばすで開催されました。

講座では、目に見えない電気を手回し発電機で「見える化」して、エネルギーを大切に使うことの必要性について学びました。

受講した24名は、発電の大変さを体験しながら、電化製品の賢い使用方法を学習していました。

↓大学生の指導のもと、試薬を慎重に量る児童・生徒たち



理科・算数・数学の未来を体験
さいばすサイエンスクリスマスキャンプ

12月23日から24日にかけて、サイエンスクリスマスキャンプがさいばすで開催されました。

このイベントは、小学校5、6年生と中学生を対象に、実験や観察等を通じて、科学を探究する楽しさを感じてもらおうと町が開催したものです。

参加した児童・生徒約30人は、統一テーマの「エネルギー構造転換」のもと、「エネルギーの未来」や「生物がつくるエネルギー」等4つのテーマごとにグループに分かれて研究活動を行いました。



↑研究成果を発表する児童・生徒たち

↓ジャズに酔いしれる観客



ほうじゅん
芳醇な大人の時間を楽しむ
クリスマスジャズナイト

12月24日に、町内有志団体による「大人のライブ事業プロジェクト」のクリスマスジャズナイトがなびあすで開催されました。

当日は、福井市を拠点に活躍する白井敦夫カルテットとボーカルの畑春美氏を迎えたライブコンサートを行い、訪れた約80人は、しっとりとしたジャズの演奏に耳を傾けていました。

↓音楽に合わせて踊る参加者



ジャズの生バンド演奏とともに
ダンスパーティー

12月17日に、生涯学習まちづくり委員会によるダンスパーティーがなびあすで行われました。

この催しは、懐かしの社交ダンスをみんなで再現して楽しむことを目的に開催されたものです。

当日は、40人が参加し、美浜ジャズオーケストラの演奏に合わせて、パートナーとダンスを踊り、楽しい時間を過ごしていました。



まちウォッチング
atching

健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。



↑新倉久美子氏(写真右)による料理講習会

うま にじいろしょく 美しみはま虹彩食推進事業

健康のためには、1日350g以上の野菜摂取が必要と言われています。しかし、昨年度実施した食生活実態調査では、美浜町民の野菜の平均摂取量は222gで目標量に約130g不足しています。

そのため、町では、げんげん運動の一環として、町民の野菜摂取量を増やすため、美浜の旬の食材を使用した「四季の葉膳メニュー」の開発を行いました。メニューの開発には、葉膳や地産地消に詳しい新倉久美子氏(株式会社東方健美研究所代表取締役)に監修していただきました。また、開発したメニューの料理講習会をこれまでに3回実施しました。



↑へしこやトマト、きゅうり等を使用した「夏の虹彩食メニュー」



↑町内産のゆずや大根等をたくさん使用した「冬の虹彩食メニュー」

四季の葉膳メニューは、今後、レシピ集として冊子に取りまとめ、各集落で開催する料理教室等で活用していく予定です。

また、2月14日には「春の美しみはま虹彩食講習会」を開催します。参加費は無料ですので、お気軽にご参加ください。(14頁参照)

※お問い合わせ先
町健康づくり課(担当・山内)
☎32-6713

げんげん運動 げんげんコーナー

～親子げんげん料理コンテスト入賞作品～
(チーム名:北村さん親子)

メニュー
美浜の野菜のぎゅうぎゅう焼き
(1人分◆252kcal、塩分0.8g、野菜量約120g)



町では、町内の小中学生親子を対象に、美浜の野菜を使用した一品メニューを募集しました。今月は、入賞作品の「野菜がたくさん摂れるオススメレシピ」をご紹介します。

【材料・分量(4人分)】

- ・じゃがいも…4個
- ・にんじん…1/2本
- ・玉ねぎ…1/2個
- ・かぼちゃ…100g
- ・さつまいも…1本
- ・ミニトマト…10個
- ・ピーマン…5個
- ・にんにく…3かけ
- ・鶏ささみ…5本
- ・ウィンナー…5本
- ・ローズマリー…1枝
- ・塩…少々
- ・ブラックペッパー…少々
- ・オリーブオイル…大さじ3

【作り方】

- ①じゃがいも、にんじんは一口大に切り蒸す。玉ねぎはくし型に切り、かぼちゃ、さつまいもは5～8mmの厚さに切る。ミニトマト、ピーマン、ウィンナーは食べやすい大きさに切り、にんにくはスライスする。鶏ささみは一口大に切りオリーブオイルと塩をもみこむ。
- ②天板にクッキングシートを敷き、①をぎゅうぎゅうに乗せる。
- ③オリーブオイルをまわしかけ、塩とブラックペッパーを軽くふる。
- ④ローズマリーを乗せて、150℃で40分焼く。最後に180℃で10分焼いて焼き色をつける。

【ワンポイントアドバイス】

- ★ローズマリーとにんにくの香りで、塩分が少なくてもおいしく食べられます。
- ★入れる野菜の種類は、お好みで変えることもできます。



みんなでハッピーバースデー!

子育て支援センターでは、毎月誕生会を開催して、その月に生まれた子どもをお祝いしています。みんなで「おめでとう!」と声かけをしたり温かい拍手を送ったりして、とても心温まる誕生会です。

誕生会では、エプロンシアターや人形劇等みんなで楽しめる催しを行っています。また、手作りのバースデーカードと当日撮った写真をプレゼントしており、子どもへのメッセージを書くことで誕生日の記念にもなります。

子どもの誕生日は、お母さんも1歳、お父さんも1歳…と子育ての経験年数をお祝いする日でもあります。子どもに「おめでとう」の声をかけながら、生まれて来てくれた日のことを思い出し、親子の成長を喜び合う記念日にしてみてはいかがでしょうか。

誕生会の開催日は、子育て支援センターが発行している「みはま子育てわくわくカレンダー」または、子育て支援センターのホームページに掲載しています。皆さんお誘い合わせの上お越しください。



↑パネルシアターで楽しむ参加者たち

※お問い合わせ先
子育て支援センター(担当・坪塚) ☎32-0192

ふくびくう 副鼻腔のはなし

副鼻腔といわれる空洞はすべて鼻腔(鼻から吸った空気の通り道)と繋がっており、顔の中央に集まっています。左右対称に頬のあたりに存在する上顎洞、目と目の間には篩骨洞、おでこのあたりは前頭洞、鼻腔の奥には蝶形骨洞が存在し、合計4つです。

副鼻腔の機能はよく分かっていませんが、音(声)の共鳴作用や、吸った空気の温度や湿度の調節作用等が存在意義だと言われています。



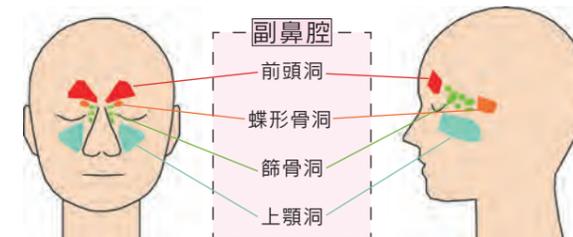
東部診療所 村寄医師

急性と慢性では症状の違う副鼻腔炎

副鼻腔は表面を粘膜で覆われた空洞で、鼻炎と同じように炎症を起こすことがあります。ウイルス性の風邪に伴って発症する場合や副鼻腔の直接細菌感染が原因で起こる場合は、急性の副鼻腔炎となります。頭痛や眼の奥の痛み、発熱等の症状が認められます。上顎洞の急性副鼻腔炎の場合には歯の痛みと勘違いすることもあります。

一方、主に鼻の構造異常やアレルギー等の慢性疾患に伴って持続する副鼻腔炎を発症したものが慢性副鼻腔炎で、蓄膿症とも呼ばれます。黄色く汚れた鼻水や鼻づまり、味が分からない等の症状が現れ、

発熱や痛みは目立たないことが多いです。鼻のポリープ(鼻たけ)を合併発症する場合もあります。慢性副鼻腔炎は、抗生剤を服用することで治療できる場合が多いため、放置せずに耳鼻科を受診して、レントゲンや細菌検査等の診断を行いましょう。



※お問い合わせ先
東部診療所(村寄医師) ☎37-2911

慶弔

12/1~12/31 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
田邊 椋利	男	健太・樹里	金山
梶岡 真衣	女	龍介・由利香	郷市
濱本 衣都	女	康徳・真実	久々子

◎ご結婚

氏名(旧姓)	住所
(橋本) 整政 & 鳥井 裕美子	北田
濱野 貴明 & (下村) 葉月	丹生
宮下 直也 & (井上) 千代	久々子

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
岡部 彰	山上	80	岡部 靖
渡邊 きみ	日向	102	渡邊 喜昭
野崎 信二	気山	98	野崎 俊和
瀬戸 正人	佐柿	83	瀬戸 睦
橋 浩トメ	佐田	92	橋 浩 二三夫
加藤 和夫	河原市	91	加藤 浩
井上 静夫	佐田	87	井上 喜代子
上田 アケミ	菅浜	76	上田 稔
北山 二七子	佐柿	73	北山 由明
鈴木 よしの	佐田	96	鈴木 重利
堀 美代子	久々子	92	堀 正幸
大西 康訓	金山	62	大西 正行
田邊 入工	郷市	92	田邊 隆明
岸本 早苗	松原	87	岸本 幸久
澤田 義直	竹波	90	澤田 忠義
畑 勉	佐田	79	畑 真己
武田 友城	久々子	78	武田 朱美
四ツ橋 新治	松原	83	四ツ橋 政和
森下 政子	日向	96	森下 嘉雄
島田 久美子	佐柿	67	島田 憲一

わが家のアイドル



山田 強さん・由希さん
(佐野)の長男

大遥ちゃん(1歳1ヶ月)

1人で立てるようになったよ！
立ちあがるとみんながパチパチ
拍手してくれるから、嬉しく
なっちゃうんだ！歩けるようにな
ったら、お散歩に行くのが楽し
みだなー☆

ご飯をもりもり食べて、もっ
とおおきくなるぞ！

町人さん

新成人として成人式実行委員会
実行委員長を務められた



渡邊 裕斗さん(早瀬)

*実行委員になったきっかけは？

友達に誘われて委員会に加わりました。

*どのような気持ちでセブションを企画されましたか？

皆さんに楽しんでもらえるように企画しました。人それぞれの
思いがあるので、どのような催しを行うか決めることが難しかった
です。

*式を終えてみての感想は？

これからも、今までどおり自由にやっていきたいと思ってます
が、成人したことを自覚して、しっかりしなければならない部分
はしっかりしていきたいと思っています。

●応募方法
クオスの真ん中(2重枠内)に漢字1文字入れると4つの2文字
言葉が完成します。
2つのクオスを解き、使った2つの漢字で美浜町の土地・地区・
場所の名称をつくってください。
はがきに、答えと住所、氏名(お便りも大歓迎！)を書い
て、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192美浜町
郷市25-25)まで送ってください。
メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。
【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



締切りは、2月9日(金)(消印有効)です。正解者の中から抽
選で5人の方に記念品をお送りします。

- 1月号の答え 郷市
- 応募者総数は14人で全員正解でした。当選の発表は、記念
品の発送をもってかえさせていただきます。

ふるさと昔話 (70)

歴史・第5回企画展
「がんばる少年考古学者」からの
贈り物 寄贈資料展

1月20日から歴史文化館で始
まった第五回企画展のタイトルは
「がんばる少年考古学者」からの
贈り物。美浜町教育委員会(歴
史文化館)は、昨秋、美浜町丹生
出身の古川登氏から九千点以上
もおよぶ多くの考古資料を寄贈
いただきました。縄文時代の浄土
寺遺跡、古代の土器製塩遺跡であ
る東奥浦遺跡、耳川流域の興道寺
古墳群等の採集資料は、美浜町の
原始古代を考える上で大変重要な
資料が含まれています。

古川氏は中学生のころから考古
学に関心をもたれ、美浜町内をは
じめ各地をくまなく踏査し、多く
の遺跡を発見されました。昭和51
年(1976)11月15日付けの福
井新聞では、「がんばる少年考古
学者」として少年期の考古学活動
の一端が取り上げられています。
企画展では、古川氏から寄贈を受
けた考古資料の一部を展示してい
ますが、ここでは浄土寺遺跡と興
道寺古墳群をご紹介します。
浄土寺遺跡は敦賀半島の西岸、
落合川河口付近の南向きの山裾に
所在する縄文時代前期から中期に
かけての遺跡です。1970年代
後半にゴミ穴掘削や工場建設、圃
場整備等によって遺物包含層が露
し、古川氏によって石鏃や石錐、
磨製石斧、石錘、磨石、石皿等の
石器が採集されました。狩猟、漁
労、採集のための基本的な道具が
揃い、居住の拠点であった可能性
が考えられます。また、長さ60cm
ほどの大型の石棒一点も採集され、
屋外に集団共有の祭祀の石器が置
かれ、その周囲に数軒の竪穴住居
が並ぶ集落があった様子が想像さ
れます。

興道寺古墳群は、耳川流域下流
の左岸河岸段丘に所在する6世紀
から7世紀前葉にかけての古墳群
です。興道寺廃寺の西方に位置し
ています。昭和50年代の圃場整備
によって周溝や横穴式石室等、十
数基の埋没古墳が発見されました。



↑興道寺5号墳出土土器

古川氏が周溝の北側で須恵器壺や
土師器甕、椀(写真)を採集した
という5号墳は全長12・5mの円
墳です。
美浜町において組織的な発掘
調査が行われるようになった
1970年代後半は、美浜町にお
ける遺跡の調査研究の萌芽期とし
て注目されます。その一方で古川
氏のように、足を棒にしながらか
踏査を繰り返す、存亡の危機から遺
物を救出し、また実際に興道寺窯
を発見する「行動力を持った考古
学徒」が同時期に存在したこと
もまた、多くの遺跡や貴重な遺物
を今日まで伝えることとなった大
きな要因の一つでした。

(美浜町歴史文化館)

文芸欄

川柳

羽根がない白雲のつて旅したい

川尻 登志子(菅浜)

名水がずらりと並ぶ冷蔵庫

長谷川 美代子(中寺)

お手頃がバーゲンになり気落ちする

浅田 恵美子(金山)

横綱もうつつちやりくらい幕下りる

福島 恭子(郷市)

夏痩せに羨ましいと云わないで

加藤 茂(河原市)

連勝の歴史築いた藤井棋士

坂井 豊一(松原)



広報みはまハートフルクイズ

(例)

	神宮		朝		街
迷宮	宮崎	都		井	指
	殿		真		極
			瓜		

こたえ ○○

■くらしのカレンダー■

平成 30年2月

1 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	17 (土)	
2 (金)		18 (日)	13:00~健康づくりフォーラム(はあとびあ)
3 (土)		19 (月)	
4 (日)	16:00~森山良子 Concert Tour 2017-2018 (なびあす)	20 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:30~「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)
5 (月)	9:30~保育園開放(せせらぎ保育園)	21 (水)	9:30~生き生き健康教室(男性)(はあとびあ) 古紙 (東地区)
6 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:30~「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	22 (木)	10:00~2歳児教室(はあとびあ) 13:00~3歳児健診(はあとびあ)
7 (水)	9:30~生き生き健康教室(男性)(はあとびあ) 9:30~保育園開放(あおなみ保育園)	23 (金)	
8 (木)	10:00~1歳児教室(はあとびあ) 13:30~育児学級(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	24 (土)	
9 (金)	9:30~保育園開放(みずうみ保育園)	25 (日)	8:30~ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (~12:00 エコクル美方)
10 (土)		26 (月)	
11 (日)	建国記念の日 8:30~ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (~12:00 エコクル美方)	27 (火)	9:30~生き生き健康教室(女性)(はあとびあ) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ)
12 (月)	振替休日 14:00~ポルタDeファツィオリ 「ファイナルコンサート」(なびあす)	28 (水)	
13 (火)	9:30~生き生き健康教室(女性)(はあとびあ) 10:15~育児講座「言葉の発達を促す関わり方について」(子育て支援センター)※13頁参照 13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:00~司法書士法律相談(はあとびあ)	2月の納税 [納期限 2/28(水)] ※納付は口座振替が便利です。 固定資産税(4期)・国民健康保険税(8期)	
14 (水)	9:00~美しきはま虹彩食講習会(はあとびあ) ※14頁参照 古紙 (北・南地区)		
15 (木)			
16 (金)	住民税申告、確定申告受付期間(町役場税務課) ~3月15日 10:00~ミニさくらんぼ(美浜東小学校)		

●イベント ●健康診査・検診 ●子ども行事 ●ごみ・資源回収

- 行事の予定は、1月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- 古紙 は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

福井しあわせ元気国体2018
福井しあわせ元気大会2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

人口の動き

人口総数	前月比
9,710人	(-16)
男 4,764人	(-12)
女 4,946人	(-4)
世帯数	
3,708世帯	(-5)
平成30年1月1日現在	

▽表紙の写真
1月8日に新庄区寄積で行われた司打ち講の様子です。
この行事では、厄年の人が放った矢が外れると、豊作や厄払いになると言い伝えられており、今年も2人の打ち手が「ヤリマシト」と唱えて矢を放つと、矢は的から大きく外れました。

こんにちは
企画政策課です。
つい先日、新しい年を迎えたかと思っていたら、もう1ヶ月が過ぎようとしています。
今月までは、1月7日になびあすで行われた成人式の様子を紹介しました。取材をしていると、自撮り棒を使って記念撮影を撮っている姿を見かけました。私が20歳の時には、まだ携帯電話すら持っていなかったことを考えると、それだけの年数が経過しているのだとしみじみ感じました。
さて、新成人の方々の話をお聞きしていると、将来に向けての目標をしっかりと持って、それぞれの道を歩んでいることを感じました。学校卒業後は美浜町に帰ると言われる方もいて、ぜひ、次代を担う世代として美浜町に新しい風を起こしていただけることを期待しています。